

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	九州ルーテル学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キュウシュウルーテルガクインダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F143310111344
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	熊本県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	職場体験学修(インターンシップ)
	学部・研究科等名	人文学部
	担当教職員名・役職	河田将一：教授、江森由利子：就職支援コーディネーター、川田翔大：学生支援課
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	63
	受入企業等数	16
	受入企業等名	株式会社再春館製薬所、熊本ダイハツ販売株式会社、明治安田生命保険相互会社、株式会社ハイコム 等
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年 大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている

要素③		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	インターンシップの趣旨や目的の理解、企業研究、ビジネスマナー、身だしなみ、諸注意等を含め、全8回の事前学修を実施している。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	大学コンソーシアム熊本主催でインターンシップの感想等をグループに分かれて意見交換し、企業担当者を招いた報告会を実施している。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細		
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	事前2日+実習2日+事後1日
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	6.企業と協働して、P D C Aを実施している
		7.その他
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容		

	6-3.上記回答内容に関する詳細	事後に成果発表会を実施した。参加者を複数グループに分け、感想や意見、学びをグループごとに話す中に、実習先の企業の方にも参加していただき、発表に対する講評などが行われた。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	
問い合わせ先	大学等名	九州ルーテル学院大学
	担当部署名	学生支援課
	担当者役職名	就職支援コーディネーター
	担当者氏名	江森由利子
	電話番号	096-341-1168
	メールアドレス	<a href="mailto:shushoku@klc.ac.jp">shushoku@klc.ac.jp</a>